

5月保健ガイド

母子保健・予防接種

問 子ども家庭課 ☎56-0210

| 内容(予は要予約) | とき | 対象(対は対象) | |
|-------------------------------|---|--|-----------------------|
| 保健センター 親子健康手帳交付 | 9日(木) | 10:00 集合 妊婦 | |
| | 23日(木) | | |
| | 17日(金) | 10:00開始～ 11:00終了予定 主に妊娠6か月頃までの初妊婦とその夫 | |
| | 9日(木) | | |
| 17日(金) ※定員9組 | 13:15受付～15:30終了 主に妊娠7か月以降の初妊婦とその夫 ※3日前までに予約がない場合は中止 | | |
| 26日(日) ※定員6組(平日) 9組(土日) | | | |
| 離乳食教室 | 20日(月) | 10:00～11:15 主に第1子(4～5か月)をもつ保護者 (乳児同伴可) | |
| 妊婦訪問 | 予約制 (希望者は保健センターへ要連絡) | 妊婦(訪問は妊娠中1回) | |
| こんにちは赤ちゃん訪問 | 3～4か月児健診受診前 | すべての赤ちゃんとその保護者 | |
| のびのび 計測日 | 保健センター | 2日(木) | 10:00～10:30受付 未就園児 |
| | 北児童館 | 24日(金) | |
| 妊産婦歯科健康診査 | 予約後、市内委託医療機関を受診 | 妊婦と産後1年未満の産婦 | |

| 市内委託医療機関で予約 | 予 | 対 |
|-------------------|--|----------------|
| 予 ロタウイルス | 対 1価ワクチン 出生6～24週 | 5価ワクチン 出生6～32週 |
| 予 B型肝炎 | 対 生後1歳未満 | |
| 予 ヒブ、小児用肺炎球菌 | 対 生後2～60月に至るまで | |
| 予 4種混合、5種混合 | 対 生後2～90月未満 | |
| 予 BCG | 対 生後1歳未満 | |
| 予 麻しん・風しん混合(MR) | 対 第1期 生後12～24月未満 | 第2期 小学校入学前の1年間 |
| 予 水痘 | 対 生後12～36月未満 | |
| 予 日本脳炎 | 対 1期 生後6～90月未満、2期 9～13歳未満 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり | |
| 予 二種混合 | 対 11～13歳未満 | |
| 予 HPV 2価・4価・9価 | 対 小学6年生～高校1年生の女子 救済制度により対象以外で接種可能な場合あり | |

成人保健・予防接種

問 健康推進課 ☎63-3300

| 医療機関で予約 | 予 | 対 |
|---------------------------|---|--|
| 予 高齢者肺炎球菌 | 対 65歳以上66歳未満 | |
| 予 個別特定健康診査 | 10月31日までに市内委託医療機関を受診。 ※胃内視鏡検診のみ、一部医療機関で12月まで受診可。 | 対 市国民健康保険加入者で40～74歳の人 対 後期高齢者医療制度加入者 対 40歳以上の人(検診によって制限あり) |
| 予 後期高齢者医療健康診査 | | |
| 予 個別がん検診※ (肺・胃・大腸・前立腺) | | |

その他お知らせ

納期限(5月31日)

| 税目 | 納期 | 問合先 |
|-------|----|-----------------|
| 軽自動車税 | 全期 | 収納課 ☎56-0610 |

口座振替の人は、納期限の日に引き落としますので、残高を確認してください。

日曜・祝日の受診は

東名古屋医師会休日急病診療所
☎0561-73-7555

| | |
|------|--|
| 診療日時 | 日曜・祝日・年末年始 9:00～16:30 (昼休憩1時間あり) |
| 診療科目 | 内科・小児科 |
| 所在地 | 日進市蟹甲町中島22 |

急な病気・ケガの時は

救急医療情報センター
☎0561-82-1133

24時間365日対応可。症状に応じてその時診療できる最寄りの医療機関を案内。

愛知医科大学病院 時間外診療

救急でかかりつけ医が開いていない場合、診療を受けることができます。まず、電話で相談してください。
☎0561-62-3311(代表)

なお、時間内、時間外問わず、紹介状なしで受診する等の場合、選定療養費が必要になることがあります。詳細は愛知医科大学病院へ問合せください。

まちの保健師

保健師がさまざまな場所に向き、健康相談をお受けします。詳細は市HPへ。



ドクターからあなたへ フッ素を上手に使ってむし歯予防 浅井小児歯科医院 今村 綾

むし歯予防のために歯磨剤等に利用している「フッ素」とは、フッ化ナトリウムまたはフッ化第一スズというフッ素化合物です。少し前から話題になっているPFAS(ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物)のことを「有機フッ素化合物」とも呼ぶので混同してしまった方もいるのではないのでしょうか。健康被害の恐れがあるPFASと口の中に使用するフッ素は別物です。安心して使用してください。

むし歯予防に使用するフッ素には歯科医院で塗布する高濃度フッ素と、家庭や学校・幼稚園保育園等で歯磨き粉やうがい薬として使用できる低濃度フッ素とがあります。

歯科医院で高濃度フッ素を塗布すると歯の表面にフッ素力

ルシウムというバリアを作ります。飲食物の酸やむし歯菌の出す酸で歯が溶ける時に、先にバリアから溶けることで歯へのダメージを減らします。家庭や学校等で低濃度フッ素を継続的に使用すると、溶けた歯の表面を修復する手助けをしたりむし歯菌の活動を弱めたりします。定期的な歯科医院での高濃度フッ素塗布と日々継続的な低濃度フッ素を併せて利用しむし歯予防効果を高めましょう。

低濃度フッ素は年齢に応じて推奨されるフッ素の量が異なりますが、商品の注意書き通りに利用すれば問題ありません。

フッ素は世界中でむし歯予防に利用されています。フッ素を上手に利用してむし歯を予防しましょう。